



# 宮 社 協 だ よ り



## 赤い羽根ご協力ありがとうございます



街頭募金運動に参加した宮古高等学校生徒の皆さん、元気な声で協力を呼びかけました。



令和3年度赤い羽根共同募金運動が10月1日に始まり、市民や団体・企業の協力を頂き、多くの募金が集まっています。今年度に集まった募金は令和4年度の赤い羽根共同募金配分事業として、宮古島市民の「ふだんのくらしのしあわせづくり」を目的とした事業に大切に使わせて頂きます。写真は令和3年12月12日に宮古高等学校の生徒の皆さんが、サンエーショッピングタウン宮古前で赤い羽根共同募金運動をおこなっている様子です。高校生の皆さんは、募金をしやすい呼びかけや小さな子供たちの目線に立ち募金を受け取るなど、自分たちで考えて募金運動を行っていました。



社会福祉法人 宮古島市社会福祉協議会  
〒906-0106 沖縄県宮古島市城辺字西里添 7 8 番地 3  
代表：TEL (0980) 77-8661 FAX 77-8663  
e-mail: honsyo@miyashakyo.jp



平良老人福祉センター  
☎ 72-3193

伊良部老人福祉センター  
☎ 78-5973

下地上野老人福祉センター  
☎ 76-2540

下地支所  
☎ 76-2270

# こんな困りごとありませんか？

悪質業者からの電話が  
ありだまされそうになった。

大事な書類や証書  
の管理ができない。  
心配だ。

認知症の家族をサポートして  
きたが、体調を崩して今後は  
支援できそうもない。誰か代  
わりにサポートしてくれない  
か？

通帳をどこに置いたか  
わからなくなる。預かっ  
てもらいたい。また、支  
払いとかも一緒に考え  
てほしい。

Q:『誰でも利用できるの？』

対象者は、認知症、知的障がい、精神障がい  
等により判断能力が不十分な方、日常生活に  
不安を抱えている方となります。



Q:『宮古島市ではどれくらいの方  
が利用しているのですか？』

宮古地域福祉権利擁護センター  
・・・実利用者数113名  
成年後見支援センターみやこ  
・・・実利用者数30名  
※両センター合わせて約143名の方が利用しています。  
令和3年10月末現在



そんな時は、

「宮古地域福祉権利擁護センター」  
「成年後見支援センターみやこ」

・・・75-3955

・・・72-7515

住 所 宮古島市平良字下里442

(旧保健センター。サンエーカママヒルズ向かい)

・・・一人で悩まずに、まずはお気軽  
に相談して下さい・・・

※相談の際には、事前にお電話して相談日時を  
調整して頂けると助かります。

へ相談してみませんか？職員一同、一生懸命お手伝いさせていただきます。



## その他相談窓口 ご案内



地域福祉活動 連絡先:0980-72-3193

ボランティア活動、赤い羽根・歳末たすけあい募金、社協会費、いきいきふれあいサロン、フードバンク活動、自治会サポート事業などに関すること。

生活福祉資金 連絡先:0980-72-3193

社会福祉協議会では、より効果的に低所得世帯等の自立支援を図るために、各種資金の貸付等を行っております。

総合支援資金、緊急小口資金、臨時特例つなぎ資金、福祉資金  
教育支援資金

コミュニティソーシャルワーカー

連絡先:0980-72-3193(平良)0980-77-7930(城辺)

0980-78-5973(伊良部)

0980-76-2270(下地上野)

高齢者や障がい児(者)、子育て中の方々等の暮らしの困りごとや悩みごとを関係機関や団体等と連携して、総合的な相談支援を行います。また、地域支援として、地域における支え合いの仕組みづくりや地域で顔の見える関係づくり、新たなサービス創出に取り組みます。

居宅介護支援事業 連絡先:0980-76-1220

介護認定を受けた後に、在宅で介護を必要としている要介護者(要支援者)やその家族の状況、生活環境、意向に応じ、介護支援専門員(ケアマネージャー)がケアプランを作成し、事業者関係機関との連絡調整を行うなど、在宅での介護支援を行います。

地域包括支援センター

連絡先:0980-75-0656(ひらら)

0980-79-0811(みやこ)

介護・医療・保健・福祉などのさまざまな面から高齢者を支える「総合相談窓口」です。

高齢者の皆さんの心身の状態に合わせて地域で自立して生活できるように「介護予防の支援」、虐待の相談や成年後見制度活用の支援など「高齢者の権利を護る」支援、包括的・継続的に「住みよい地域づくり」支援を行います。

訪問介護しやきょう 連絡先:0980-76-2540

資格を持った介護職員がご自宅へお伺いし、身の回りのお世話や自立支援のためのサービスを提供します。

訪問介護・総合事業、居宅介護(障害)、移動支援、くらしのサポート

通所介護ぐすくべ 連絡先:0980-74-4133

日帰りで施設に通い、食事や入浴などの日常生活上の介護などを受けられるサービスです。自宅にこもりきりの孤独感の解消や心身機能の維持、家族の介護負担の軽減などを目的として実施します。

通所介護・総合事業

小規模多機能型居宅介護事業

連絡先:0980-74-4007(きゃーぎ)

0980-76-2849(たかやま)

施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流のもとで、日常生活上の支援や機能訓練を行い、住み慣れた地域でのくらしを支援します。

# 宮古島市社協指定通所介護事業所いらぶ 26年間ありがとうございました

介護保険制度が始まる前の平成7年より26年間にわたり地域の皆様に親しまれ、伊良部地区における高齢者福祉の一端を担ってきた宮古島市社協指定通所介護事業所いらぶが令和3年12月31日をもって閉鎖となりました。

平成 7年 6月

伊良部町の委託を受け「通所介護事業所いらぶ」開所

平成12年 4月

介護保険制度のスタートに伴い「伊良部町社協指定通所介護事業所いらぶ」となる

平成17年10月

宮古地区の5市町村合併に伴い「宮古島市社協指定通所介護事業所いらぶ」となる



## 生きいき教室開催地区相談承ります！

生きいき教室（介護予防普及啓発事業）は、高齢者の方々の健康保持増進や介護予防の普及を目的として活動しており、また、集まって楽しくおしゃべりすることで憩いの場にもなっています。福岡県のある自治体の調査では、生きいき教室に参加する人と参加しない人を比較したところ、医療と介護両面で大きな差が出ていることが分かりました。医療費が半分以下に、又、介護認定を受ける割合も低くなっており、確実に予防につながっていることが立証されています。

宮古島市で開催されている生きいき教室では、フレイル（虚弱）対策として、栄養や口腔機能の専門職にも協力いただき、知識を学んだり、運動をしたりと予防に励んでおります。現在、平良地区4カ所、城辺地区5カ所、伊良部地区1カ所、下地上野5カ所が開催されておりますが、今後も幅広く活動を展開していき、元氣な宮古島市づくりに貢献してまいりたいと考えておりますので、ぜひ私たちの地区でも開催をと思われる方がおりましたら、いつでもご相談ください。

## 職員募集

介護予防普及啓発事業（生きいき教室）  
パート職員募集について

介護予防普及啓発事業

（生きいき教室）で平良地区、伊良部地区及び下地上野地区を担当するパート職員を募集しています。

時給：820円

勤務時間：月～金 09：00～14：00（5時間） 週20時間

出勤場所：月、水、木、金曜日：平良老人福祉センター

火曜日：下地公民館

〔業務は2名一組で行います。〕

休日：土日、祝祭日、慰霊の日、12月29日～31日、

1月1日～3日

## 生きいき教室に関するお問い合わせはこちら



76-2540（事業課；担当嵩原）

生きいき教室利用に関するお問い合わせは各地域担当へ

○72-3193（平良地区；担当伊佐）○77-7594（城辺地区；担当石原）

○76-2270（下地上野地区；担当小祿）○76-2540（伊良部）





会長あいさつ

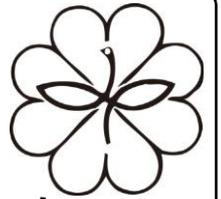
宮古島市社会福祉協議会  
会長 中村雅弘

謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
市民の皆様には、日頃より本会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出もあり、宮古島市社会福祉協議会におきましても活動制限を余儀なくされたところもありましたが、市民の皆様のご協力により、無事に新年を迎えることができたことを深く感謝申し上げます。

宮古島市社会福祉協議会では、第3次宮古島市地域福祉推進計画の基本理念「人とう添い 結いぬ島みやくく」(みんなが寄り添って集う)のもとに、地域住民や地域の様々な団体等が参画し、人、資源が世代や分野を超えてつながり、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会「地域共生社会」を目指し、子ども・高齢者・障がい者など全ての人々が安心して暮らしていける地域づくりを今年も取り組んでいきます。

市民の皆さまにおかれましては、より一層のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。  
本年が皆様方にとって幸せで希望に満ちた飛躍の年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



宮古島市民児協会長あいさつ

宮古島市民生委員児童委員協議会  
会長 下地節子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私は宮古島市民生委員児童委員協議会会長の下地節子と申します。

宮古島市の民生委員児童委員は「厚生労働大臣」から委嘱を受け、平良第一・平良第二・伊良部・上野下地・城辺と5つの単位民児協の定員124名で活動しています。

「支え合う 住みよい社会 地域から」をスローガンに民生委員は担当地区の高齢者の声かけ見守り訪問、子育て支援、地域住民がかかえる生活上の問題等、そして福祉サービスが適切に受けられるよう行政・関係機関への「つなぎ役」として地域で身近な相談支援のボランティアです。

そして、主任児童委員は学校と「パイプ役」として子供や子育てに関する事を専門に支援しています。

コロナ禍の中、声かけ訪問も思うように行きませんが地域の民政員が訪問の際は、気軽に話していただければと思います。

宮古島市社会福祉協議会職員8名が令和3年度県知事表彰を受けました。

社会福祉事業団体関係者功労で4名、ホームヘルパー・身体障害者相談員及び知的障害者 相談員功労で4名の表彰となりました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により沖縄県社会福祉大会が中止となったため、各推薦団体において伝達表彰となりましたので、市民の皆様へ感謝の意も込めてここにご報告いたします。

